



施設長 奥 淳治

今年も、「人を尊び」、「いのちを尊び」、「個を敬愛す」という私たちグループの理念を日々かみしめながら、皆さんと共に歩んでいきたいと思っております。

新年明けてましておめでとございます。ここ数年間私たちの日常生活に大きな影響を与えてきたコロナ感染症も、ようやく沈静化しています。今後もこのように強烈な感染症が流行する可能性は十分にあり、注意を怠らたらないでいたいです。その際には今回の経験がきつと生かされることでしょう。

新年のご挨拶

人を尊び

命を尊び

個を敬愛す

なごさ便り



祝 第100号



サンタの帽子を被り、クリスマスソングを歌いました。みんな笑顔で歌って楽しいひとときを過ごせました。



クリスマス



渚神社でお参りをしました。おみくじを引いて運試し。今年も甘酒は好評でした。今年一年が皆様にとって素敵な一年となりますように。本年もよろしくお願ひ致します。



初詣



ご長寿紹介(100号記念)

皆様のおかげでなごさ便り100号を迎えることができました。100号記念として100歳代のお二方をご紹介させていただきます。



毎食完食されるMさん。「神様」が口癖の信心深い方です。



可愛らしく誰からも愛されるKさん。車いすを自ら動かして移動しています。

美しい歌声に聴き入ってしまいました。ハートウイングの皆様によるコーラスの演奏会が行われ、




コーラス演奏会



THE★クラブ活動カルテット


コーラスクラブ

コーラスクラブは月の1回活動で、文化祭でも発表しました。20名弱の参加者で、懐かしい歌や季節の歌を、毎回8〜10曲歌います。歌う事が苦手な利用者様はリズムを取り、楽しい時間を過ごして頂いています。



書道クラブ


書道クラブは月1回、フロアにて季節に因んだ文字を書いています。参加者は減少していますが、見学者は増加しています。無理なく一枚書いて終了など、ご本人のペースで実施しています。



3Fフロア：クラブ活動紹介


ポッチャクラブ

ポッチャクラブは月に1回、10名前後で活動しています。5年前に活動を開始し、開始当初から参加されている方もいらっしゃいます。周りの方々も「頑張れ」と応援し、盛り上げてくださっています。



美術クラブ

美術クラブは毎月1回、6名程で活動しています。今年はガラスデコ(ガラス絵具)で花瓶を作りました。文化祭に出展しました。皆さん楽しんで作品作りに励んでいます。



通所リハビリテーション：シーズン創作



通所リハビリテーションでは、専門職によるリハビリテーションや器具によるトレーニング、体操による転倒・転落予防の運動や入浴を日々行っています。また、通所のフロアスペースを利用した作品作り、季節に合わせた催事に参加して過ごして頂いています。

掲載の作品は11月のどんぐりを利用した作品と12月にはミニツリー作り、1月に合わせた辰年の正月飾りの写真です。

壁画作成や小物作りは毎月変わり、その都度、利用をされているご利用者様と一緒に季節を感じています。「今日も渚に来られて良かった。」「楽しかった。」と思っていただけのような空間の提供をさせて頂いています。

感性とセンスの大洪水！



70年代代表★H様

①和菓子♥
②中1〜高3くらいまで、日本とアメリカを行き来していた。

80年代代表★Y様

①イチゴとラーメン♥
②子供の頃かけっこが早く、「すばっこーい」と言われていました。

90年代代表★G様

①おしんこ♥
②昔、日本全国を旅行した。行けるならまた北海道に行きたい。

4Fフロア：利用者インタビュー

4Fフロア年齢層グラフ (2023.12現在)

年齢層	人数
~69	3
70~75	2
76~79	10
80~85	11
86~89	13
90~95	3
96~99	3
100~	0

インタビュー内容

①好きな食べ物は何？
②昔の思い出は何？

甦れ！青春の記憶★

現在ご入所中の年代別代表利用者様に、インタビューをさせて頂いていただきました！

2Fフロア：ウォールアート

2階には、重度の認知症の方が多くいらっしゃると思います。認知症の人は何もできなくなると思われがちですが、その方の性格や趣味などを活かし、手作業など作品作りも可能です。塗り絵が好きな方やちぎり絵が得意な方、今までやったことがない方も協力し、こんなにも大きくて素晴らしい作品を作成しておられます。

キャンバスとなっているのはフロアの壁です。作品のおかげで、フロアがより季節感のある明るい空間になります。制作中は、利用者様同士の和気あいあいとした楽しそうな会話が聞こえてきます。認知症の方をはじめ、麻痺のある方も言葉が出ない方も、様々な病状や症状を抱えた利用者様たちが作品を取り囲み、時には笑い合い、時には真剣な眼差しで思い思いの作品作りに、時間を忘れて取り組んでいます。苦勞も一塩あつて、完成した作品を壁に飾るとみんなで大喜びし、毎日楽しく元気に過ごしています。

壁をキャンバスに！バンクシーもびっくり！

